

Mega Luffing 250

250tクラスのタワー能力を
従来200tクラスのボディで実現!

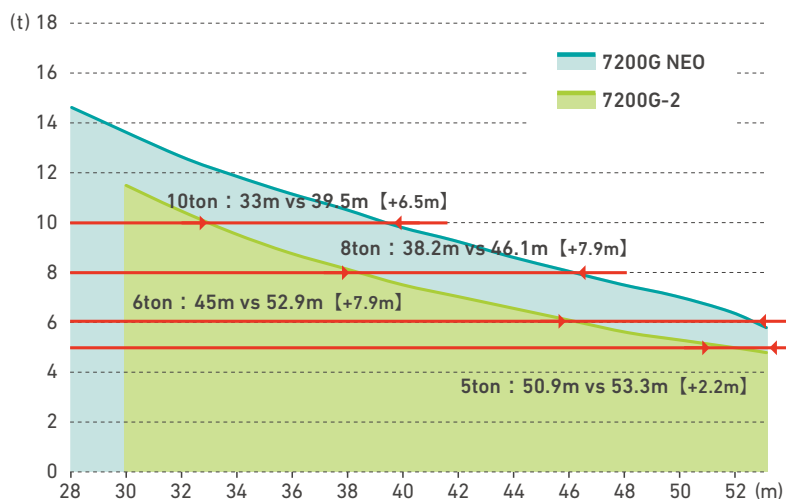
Mega Luffing 250

従来200tクラス同等のコンパクトボディに、
250t級の高剛性ブームを搭載したことで、
最大25%のつり上げ能力アップを実現しました。

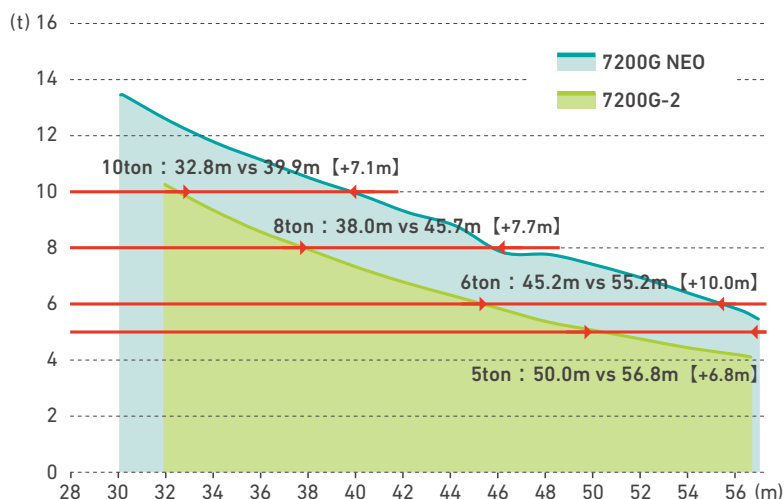
定格荷重による作業半径比較

定格総荷重より、ボールフック及びつり具0.05tを差し引き、80%の安全率を加味し、同じ荷重をつり上げた状態での作業半径を比較しました。

■ タワー48m + ジブ42m (タワー角度80°)



■ タワー51m + ジブ45m (タワー角度80°)

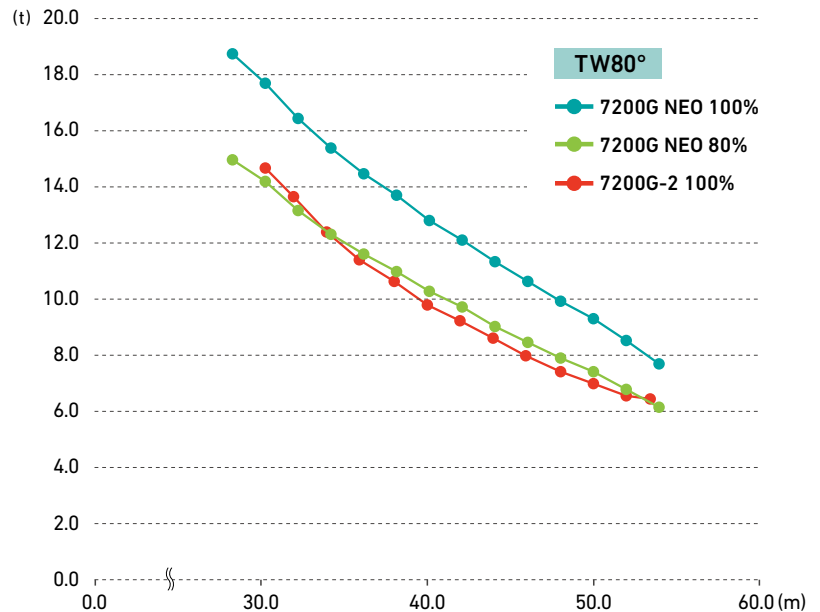


建設現場の安全基準である定格総荷重の80%のつり上げ能力で 従来機7200G-2の100%同等の能力を発揮!

タワー角度80°比較 7200G NEO (80%) vs 7200G-2 (100%) 【最多姿勢:48m+42m】

7200G NEOは全域で7200G-2とほぼ同等の能力を発揮!*

作業半径 (m)	7200G NEO		7200G-2	能力差 ①-②
	TW80°		100% ②	
	100%	80% ①		
28.0				
28.3	18.7	15.0		
30.0	17.6	14.1		
30.3			14.7	
32.0	16.4	13.1	13.6	-0.5
34.0	15.4	12.3	12.4	-0.1
36.0	14.5	11.6	11.4	0.2
38.0	13.7	11.0	10.6	0.4
40.0	12.8	10.2	9.8	0.4
42.0	12.1	9.7	9.2	0.5
44.0	11.3	9.0	8.6	0.4
46.0	10.6	8.5	8.0	0.5
48.0	9.9	7.9	7.4	0.5
50.0	9.3	7.4	7.0	0.4
52.0	8.5	6.8	6.6	0.2
53.0			6.4	
53.3	7.7	6.2		

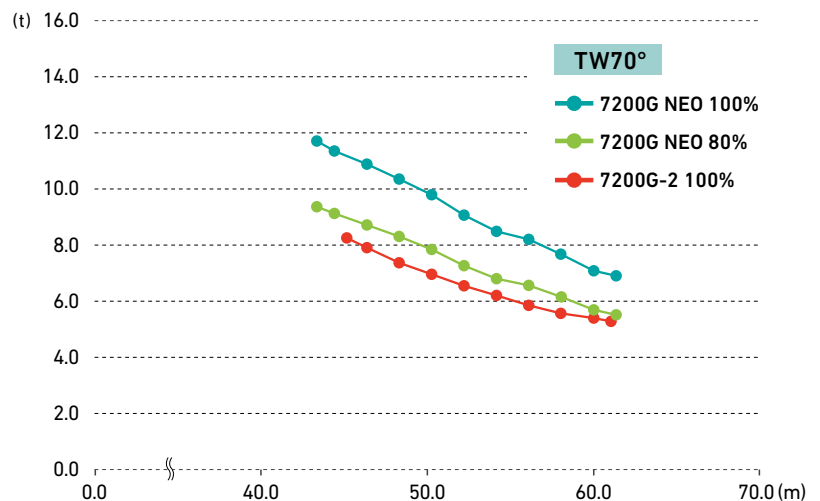


※最小作業半径近くでは7200G-2のつり上げ能力が高くなります。

タワー角度70°比較 7200G NEO (80%) vs 7200G-2 (100%) 【最多姿勢:48m+42m】

7200G NEOは全域で7200G-2のつり上げ能力を凌駕!

作業半径 (m)	7200G NEO		7200G-2	能力差 ①-②
	TW70°		100% ②	
	100%	80% ①		
43.0	11.7	9.4		
44.0	11.4	9.1		
44.8			8.3	
46.0	10.9	8.7	7.9	0.8
48.0	10.4	8.3	7.4	0.9
50.0	9.8	7.8	7.0	0.8
52.0	9.1	7.3	6.6	0.7
54.0	8.5	6.8	6.2	0.6
56.0	8.2	6.6	5.9	0.7
58.0	7.7	6.2	5.6	0.6
60.0	7.1	5.7	5.4	0.3
61.2			5.3	
61.4	6.9	5.5		
62.0				



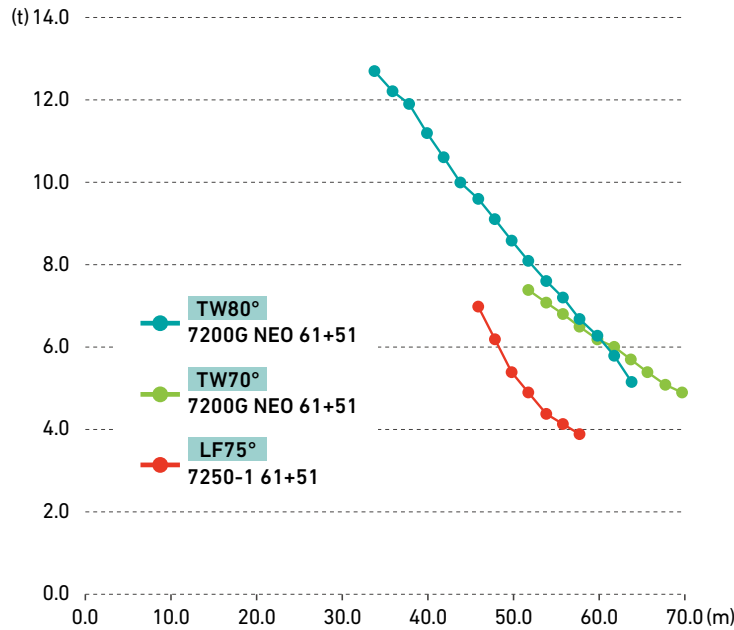
広い作業領域で旧製品250tクラス同等のタワー能力を発揮！

Mega Luffing 250

7200G NEO (TW80°/ TW70°) vs 7250-1 (LF75°) 【最多姿勢:61m+51m】

7200G NEOは全域で7250-1のつり上げ能力を凌駕！

作業半径 (m)	7200G NEO		7250-1	能力差 ①-②
	TW80° ①	TW70° 61+51	LF75° ②	
33.8	12.7			
34.0	12.6			
36.0	12.2			
38.0	11.9			
40.0	11.2			
42.0	10.6			
44.0	10.0			
46.0	9.6		7.0	2.6
48.0	9.1		6.2	2.9
50.0	8.6		5.4	3.2
52.0	8.1	7.4	4.9	3.2
54.0	7.6	7.1	4.4	3.2
56.0	7.2	6.8	4.1	3.1
58.0	6.7	6.5	3.9	2.8
60.0	6.3	6.2		6.3
62.0	5.8	6.0		5.8
64.0	5.2	5.7		5.2
64.2	5.1			5.1
65.0				
66.0		5.4		5.4
68.0		5.1		5.1
68.5				
70.0		4.9		4.9
72.0		4.7		4.7
74.0		4.3		4.3
74.4		4.2		4.2



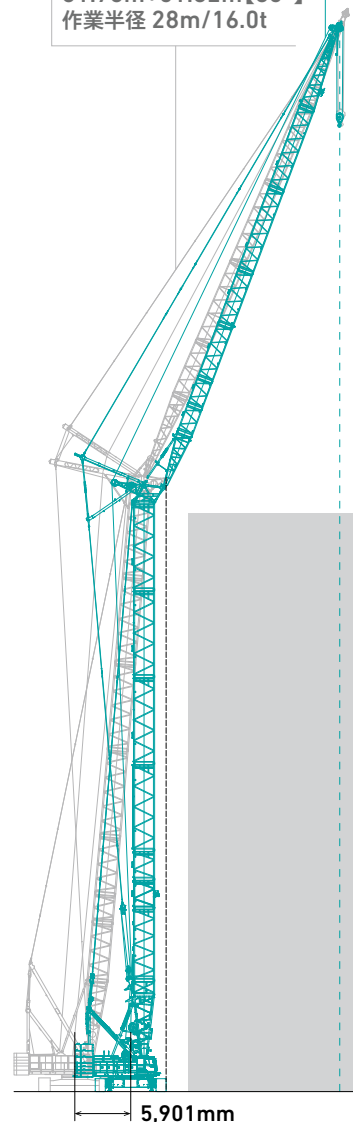
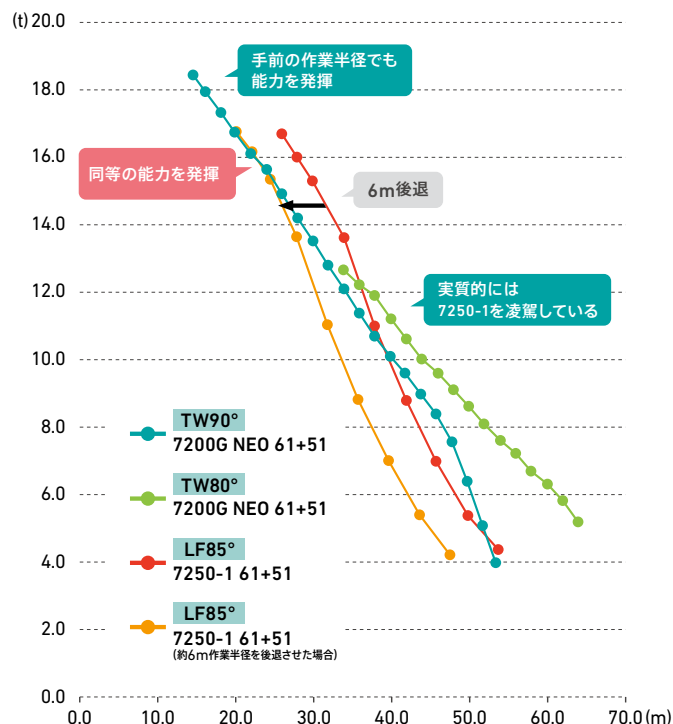
7200G NEO :
61.0m+51.8m【90°】
作業半径 22m/16.1t

7250-1 :
61.76m+51.82m【85°】
作業半径 28m/16.0t

7200G NEO (TW90°/ TW80°) vs 7250-1 (LF85°) 【最多姿勢:61m+51m】

7200G NEOは全域で7250-1と同等の能力を発揮！※

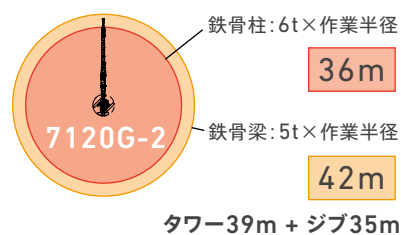
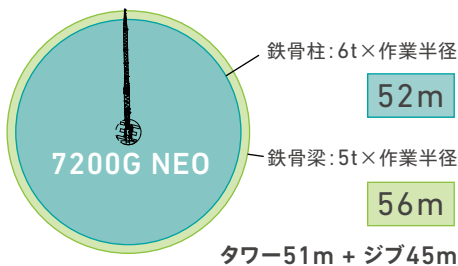
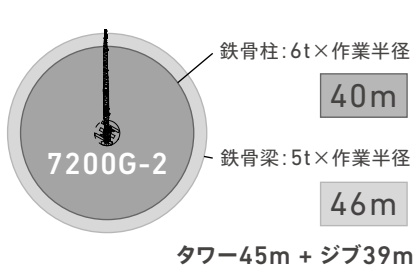
作業半径 (m)	7200G NEO		7250-1	7250-1	能力差 ①-②
	TW90° ①	TW80° 61+51	LF85° 61+51 6m後退	LF85° ②	
14.6	18.4				
16.0	17.9				
18.0	17.3				
20.0	16.7			16.7	0.0
21.0					
22.0	16.1			16.0	0.1
23.0					
24.0	15.6			15.3	0.3
24.7					
25.0					
26.0	14.9			16.7	
28.0	14.2			16.0	0.6
29.0					
30.0	13.5			15.3	
31.0					
32.0	12.8			11.0	1.8
33.0					
33.8		12.7			
34.0	12.1	12.6	13.6		
36.0	11.4	12.2		8.8	2.6
37.0					
38.0	10.7	11.9	11.0		
40.0	10.1	11.2		7.0	3.1
41.0					
42.0	9.6	10.6	8.8		
44.0	9.0	10.0		5.4	3.6
45.0					
46.0	8.4	9.6	7.0		
48.0	7.6	9.1		4.4	3.2
49.0					
50.0	6.4	8.6	5.4		
52.0	5.1	8.1			
53.7	4.0				
54.0		7.6	4.4		
55.0					
56.0		7.2			
58.0		6.7			
59.2					
60.0		6.3			
62.0		5.8			
64.0		5.2			
64.2		5.1			
66.0					



※ 7200G NEOは、90°までブームを起こせるため、約6m躯体に近い作業が可能となり、7250-1 (85°) と同等の能力を発揮します。また、手前の作業においても能力を発揮できます。

鉄骨柱(6t)・鉄骨梁(5t)つり上げ時の作業半径比較

定格総荷重より、ボールフック及びつり具0.05tを差し引き、80%の安全率を掛けて計画しました。※実際の定格総荷重表はスペックカタログをご覧ください。

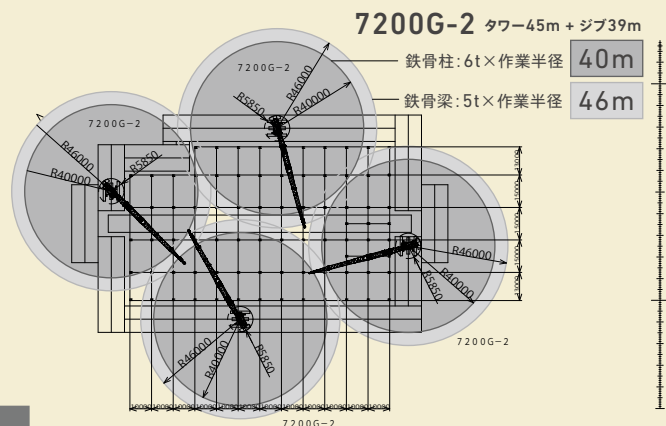


【施工計画図の比較】

200tクラスの使用を前提に

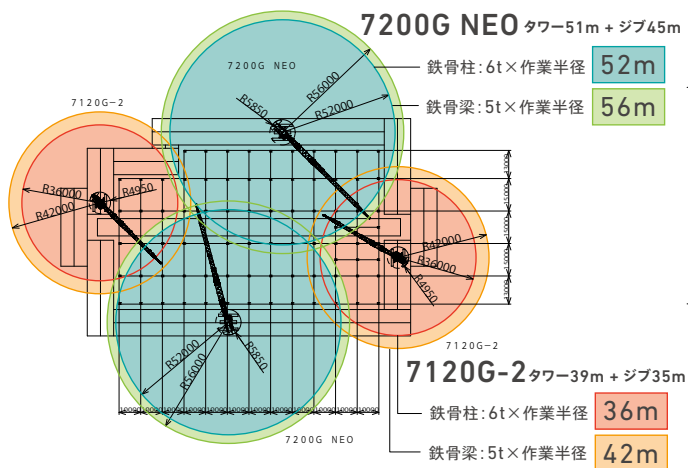
7200G-2を4台配置した現場を想定

7200G NEO を使えば、さまざまな提案が可能です



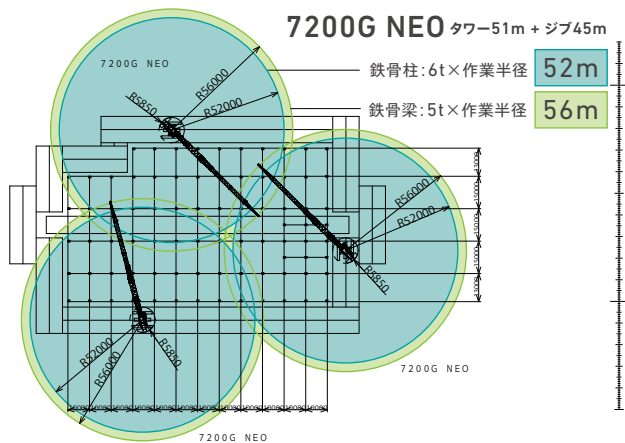
1 7200G NEO 2台 + 7120G-2 2台

7200G NEOの作業半径では、鉄骨柱を1スパン遠くに移動可能。
7200G NEOを2台・7120G-2を2台で提案可能です。



2 7200G NEO 3台

タワー能力が高く作業半径の広い7200G NEO。
7200G NEOを3台でカバーすることが可能です。※



※現場進行手順や効率は検討に含んでおりません。

- 本製品は移動式クレーン構造規格に適合しています。
- 製品のご使用にあたっては取扱説明書を必ずお読みください。仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- つり上げ荷重5t以上の移動式クレーン運転には「移動式クレーン運転士免許証」、クラムセル作業には「車両系建設機械（整地ほか）運転技能講習修了証」、基礎工事には「車両系建設機械（基礎用）運転技能講習修了証」がそれぞれ必要です。
- 本カタログで使用される標章「KOBELCO」は、株式会社神戸製鋼所の登録商標です。「AIS®」、「DPF®」はコベルコ建機株式会社の登録商標です。また、その他、当社商品名、サービス名およびロゴマークは、コベルコ建機株式会社の商標または登録商標です。その他の会社名やロゴマーク、商品名、サービス名は、各社の商標、登録商標もしくは商号です。
- 掲載写真・記載内容にはオプション品が含まれています。

コベルコ建機株式会社

■お問い合わせは……



製品および販売サービス窓口の情報は
コベルコ建機 日本サイトにて確認できます。